

会 議 録

会議の名称	第5回 本庄市総合振興計画審議会
開催日時	令和4年8月23日(火) 午前 ・午後 1時30分から 午前 ・午後 4時20分まで
開催場所	本庄市役所6階 大会議室
出席者	委員：岩上 高男副会長 清水 静子委員、矢野間 規委員、内田 英亮委員、 鳥羽 孝夫委員、高橋 茂雄委員、芦澤 吉一委員、 戸谷 清一委員、江原 貞治委員、明堂 純子委員、 小田島 寛之委員、山田 英希委員、上原 泰二委員、 古閑 政委員、杉原 朋子委員、茂木 達郎委員 事務局：【企画財政部】内田部長 【企画課】橋本課長、日野課長補佐、千田主査
欠席者	委員：広瀬 伸一会長、小暮 博光委員、野津 喬委員、 高橋 勉委員
議題 (次第)	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (報告事項) 第1号 第3回総合振興計画審議会意見対応について ・経済環境分野 ・都市基盤分野 (資料1) 第2号 第4回総合振興計画審議会意見対応について ・健康福祉分野 ・市民生活分野 ・政策連携プラン (資料2) (審議事項) 第1号 総合振興計画後期基本計画成果指標について (資料3) 第2号 総合振興計画後期基本計画の策定に係るパブリックコ メントの実施について (資料4) 4 その他 5 閉 会

様式

<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本庄市総合振興計画審議会委員名簿 ・第5回本庄市総合振興計画審議会 席次表 ・第5回本庄市総合振興計画審議会 次第 ・本庄市総合振興計画審議会スケジュール ・資料1 第3回総合振興計画審議会意見対応について ・資料2 第4回総合振興計画審議会意見対応について ・資料3 総合振興計画後期基本計画成果指標について ・資料4 総合振興計画後期基本計画策定に係るパブリックコメントの実施について
<p>その他 特記事項</p>	
<p>主管課</p>	<p>企画財政部企画課</p>

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日はお忙しい中、「第5回 本庄市総合振興計画審議会」にご出席を賜り、ありがとうございます。進行を務めます企画財政部企画課長の橋本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、入室時の検温等にご協力いただきありがとうございます。また、室内の換気のため一部の扉や窓を開放しています。あらかじめご了承ください。会議中に体調が優れない場合などは、職員までお声をかけていただければと思います。</p> <p>それでは会議に先立ちまして、報告と配布資料の確認をさせていただきます。初めに本日、広瀬 伸一委員、小暮 博光委員、野津 喬委員、高橋 勉委員より欠席の連絡をいただいておりますのでご報告いたします。</p> <p>また、「本庄市総合振興計画審議会規則」第2条の規定に基づき本会議は公開といたします。同規則第3条の規定により、本会議の開催について市ホームページで公表し、傍聴人の定員について定員10名としてご案内したところ、傍聴の希望者はございませんでした。</p> <p>また本庄ケーブルテレビ様より撮影の申出がございました。なお、会議録作成のため本会議を録音させていただきます。また、会議の様子を写真撮影させていただきます。計画策定にあたり、市ホームページ等に掲載させていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。</p> <p>次に配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="padding-left: 2em;">(配布資料の確認)</p> <p>これより会議を開催させていただきます。ここからは次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>なお、本日は広瀬会長が欠席でございますので、本庄市総合振興計画審議会条例第5条第3項の規定により、副会長であります岩上高男副会長に会長の代理をお願いしたいと存じます。まず、副会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。岩上副会長、よろしくお願いいたします。</p>

岩上副会長	<p>皆さんこんにちは。改めまして今日はいくらか過ごしやすいかと思います。委員の皆様にはお忙しいところ、多数ご出席をいただきましてありがとうございます。いよいよ総合振興計画審議会も第5回ということになります。先ほど事務局からお話がありましたとおり、本日広瀬会長が欠席でございます。代理で副会長の岩上がお世話になりたいと思います。皆様のご協力をお願いしたいと思います。なお、本日は報告事項と審議事項と別れておりますが、遠慮なくご質疑などいただければと思います。それではよろしく願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。それでは次第3、議題に入らせていただきます。議事の進行につきましては、本庄市総合振興計画審議会設置条例第6条第1項の規定により、会長が議長となっていくこととなっておりますが、会長が欠席ですので会長の代理として岩上副会長をお願いしたいと思います。よろしく願いします。</p>
岩上副会長	<p>副会長である私の方で議事進行についてお世話になりたいと思います。本日は第5回ですが、報告事項としまして、第1号「第3回総合振興計画審議会意見対応について」資料1に基づき、まず経済環境分野、都市基盤分野、第2号としまして「第4回総合振興計画審議会意見対応について」資料2に基づきまして、健康福祉分野、市民生活分野、政策連携プランについて、事務局の方から意見対応についての結果を報告していただきたいと思いますので説明をお願いいたします。</p>
事務局 (企画課長補佐)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回総合振興計画審議会意見対応について（経済環境分野、都市基盤分野） ・第4回総合振興計画審議会意見対応について（健康福祉分野、市民生活分野、政策連携プラン） <p>（資料に基づき説明）</p>
岩上副会長	<p>ただいまの事務局の方から報告事項がありました。ここで、会議の前に江原委員から要望があるということですので、どうぞ。</p>
江原委員	<p>ただいま議長の方から発言を許されました。審議会が始まる前に、発言者の内田委員にもお願いをして、対応について要望を出したいと了解をとっていることを申し入れたいと思います。内田委員ありがとうございます。</p>

	<p>資料1の1ページのNo. 2の、発言者内田委員の欄です。内容につきましては、児玉駅周辺も含まれるのかということで、当日の回答は、「今後広げるという意味を込めてこれらということになると思います。また、他のエリアは児玉駅周辺なので、記載を検討したいと思います。」という当日の対応でございました。その中で右側の対応欄です。「商業の活性化に向け、現在本庄駅北口エリアで地元商業事業者や若年層など多様な人材が連携して活性化に取り組む活動を他のエリアにも広げていくことを支援するとともに、これらの地域において」の部分ですが、「これら児玉駅周辺地域においても創業希望者に対する支援とフォローアップの充実など創業に対する取組を重点的に実施することが求められます。」ということで、表現はどのような形でも良いのですが、「児玉駅周辺地域」という文言を入れていただければありがたいと思いました。以上でございます。</p>
岩上副会長	<p>江原委員、ありがとうございました。江原委員より要望がありましたとおり、「これらの地域」を、本庄地域、児玉地域ということで具体的に名前を記入していただけないかという要望だったかと思います。</p> <p>これらについて、事務局の方から今までの協議の結果、何かございますか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>こちらは、当日の回答にもございますとおり「他のエリアは児玉駅周辺となるので」というところがありますので問題ないかと思いますが、「これらの、児玉駅周辺地域などにおいて」とできるか、担当の方にも確認をさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
江原委員	<p>了解です。</p>
岩上副会長	<p>事務局ありがとうございます。総合振興計画（案）は各委員さんに配布しているのですよね。</p>
事務局 (企画課長)	<p>配布しています。</p>
岩上副会長	<p>その中にも今の問題については具体的な名称が記載されていますよね。</p>
事務局 (企画課長)	<p>これができるかどうか、担当の方に確認させていただきます。</p>

岩上副会長	<p>それではそのようにお願いいたします。</p> <p>報告ということなのですが、もし、内田委員からあればお願いします。</p>
内田委員	<p>資料1で、2ページの対応のNo.1で「本庄早稲田駅の駅前広場は利便性が低いと認識していません」という部分について、利便性がないということを認識しているかですが、「駅前広場を活用できるという意味であれば北口でも児玉駅でもできるのではないか、何かイベントをしようと思えばという意味で言えば」と思います。そうではなく、にぎわいがあまりないという意味で利便性という言葉を使っているのであれば、本庄早稲田駅のところを賑わいが無い、お店はありますが、本庄早稲田駅を使う方には時間を潰す場所がないという声をいただいています。利便性が低いと認識していないというならその根拠をぜひ聞かせていただきたいです。</p> <p>同じページの一番下、5の居住環境の整備のところ、順番を前後していただいたのはありがたいのですが、「中山道最大の宿場町として栄えた歴史があり」という文章の中に競進社模範蚕室が入ってくるのが、競進社模範蚕室は自宅で狭くなったためふるさとに土地を買おうとしてあの場所に建てたのであり、中山道と全く関係ないと私は理解しています。もし競進社をどうしても入れたいのであれば、中山道宿場町だけではなく、児玉の方の歴史情報を入れた中で競進社が入ってくるなら意味が分かるので、知らない方が読むと煉瓦倉庫や競進社が中山道のおかげであるのだと読めてしまうところが正しくない気がして、これだけはどうしても言いたいと思います。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございました。今のご意見に事務局の方で何かありますか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ここにつきましては、担当の方に確認させていただきたいと思います。以上です。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございました。内田委員からも、また江原委員からもいただきましたが、今ここで即答というのはできませんので、またあとで報告いただければと思います。ご説明ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきたいと思います。</p>

	<p>続きまして審議事項の第1号「総合振興計画後期基本計画成果指標について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (企画課主査)	<p>・総合振興計画後期基本計画成果指標について (資料に基づき説明)</p>
岩上副会長	<p>説明ありがとうございました。委員の皆様の方から何かございましたらお願いいたします。</p>
鳥羽委員	<p>それぞれ数字があって、それが今回の目標と捉えてよいのですね。例なのですが、21ページの廃棄物の処理とリサイクルのところ、一年間のごみの排出量が提示されて年度の数値目標があるのですが、何回かお話させていただいていますが、本庄市は埼玉県で3つのワースト記録と言われています。この排出量の後期の目標数値が達成されると、他の市でも同じように取り組んでいるかと思いますが、ワーストという悪い意味で、こういったところを改善すればワーストから抜け出せるという数値を目標として置いているのかというのを聞きたいのが趣旨です。それと合わせて交通量の比率がありますが、それは見えないところもあるので、どのように数値が設定されているものなのか教えていただければと思います。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございました。事務局どうぞ。</p>
事務局 (企画課長)	<p>鳥羽委員のご質問にお答えします。こちらについては、5年後の時点でワーストいくつになるか、他の市町の状況もありますので、何位になるかは分からない状況です。この数値については、本市で作っている一般廃棄物処理基本計画中にあります、将来ごみ量予測結果を使っております。</p>
鳥羽委員	<p>特にそういう意味で数値に表したものではないということで理解してよろしいですか。</p>
事務局 (企画課長)	<p>よろしいかと思います。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございます。数値で表すのは非常に難しいことだと思います。他の委員さんの方から何かありましたら、どうぞ。</p>
茂木委員	<p>22ページ、居住誘導区域内に居住している人口の占める割合の目標が29.1%なのですけれども、居住誘導区域というのは</p>

	<p>100%にはならないというのが前提ですよ。これを見ると何年かかるか分からないですが、この数字自体あまり意味がないような、低すぎるという気がしました。</p> <p>26ページですが、水道管の耐震化率も18.0%となっています。これで地震が来た際に大丈夫なのか、ライフラインは最終的に壊れて水も飲めないということ、震度7が本庄市の一部で想定されているかと思いますがこれで大丈夫なのかという気がしました。</p> <p>28ページ、市街地に残る段丘斜面林を保全している割合はずっと51%で推移してきていて、令和4年度で53%、令和9年度も53%というのは、これは基本的には何もしないということですよ。これもあまり載せる意味がないのではないかと思います。</p> <p>30ページ、審議会等における女性委員の割合ということで、これは数字的には分かるのですが、マイナンバーカード交付率100%というのはあり得ないという話が以前あったと思いますが、現在36.1%の交付率を入れるのであれば30%ではなくせめて50%にしておくべきではないかなと単純に思いました。以上です。</p>
岩上副会長	ありがとうございました。
事務局 (企画課長)	<p>茂木委員のご質問にお答えさせていただきます。</p> <p>まず22ページ、居住誘導区域内に居住している人口の占める割合です。こちらの現状値は26.9%になります。立地適正化計画というものがあり、居住誘導区域、本庄駅北口、本庄早稲田、児玉駅周辺等になります。全市域に対するその地域の人口の占める割合を、今後人口減少という状況の中で、この区域に人が増えるような施策をしておりますので、現状の26.9%から5年後は29.1%に増やすということになるものです。これは立地適正化計画の数値を使っているものです。これをいくらかでも増やしたいということでの目標でございます。</p> <p>続いて26ページの水道管の耐震化率、現状15%、5年後に18%としています。インフラであります水道管が市内に網羅されており、たくさんの水道管が埋設されておりますので、少しず</p>

	<p>つ進めている状況です。5年後に3%増やすという数値でございます。水道課の長期事業計画の数値でございます。</p> <p>続いて28ページ、市街地に残る段丘斜面林を保全している割合、現状値は51%になります。5年後2%増やすということで53%としております。これは前期基本計画でも53%が目標値でした。目標未達成のため、今後5年間において2%上げるということで53%に設定しております。</p> <p>最後に30ページ、審議会等における女性委員の割合でございます。こちらにつきましては現状値が23.3%、市全体として男女の比率、少ない方を30%にするという全庁的な目標を掲げて行っているところでございます。2025年の成果目標については40～60%というところであり、これをだんだん増やしていきたいということでの設定でございます。</p>
岩上副会長	ありがとうございます。茂木委員、よろしいですか。
茂木委員	それが現実なのだと思いますけれども。
岩上副会長	ありがとうございます。明堂委員、どうぞ。
明堂委員	<p>16ページ、空き店舗を利用して営業している事業者数という部分、確かエリアが決まっていると思うのですが、本庄の中心市街地と児玉の中心市街地、両方の中心市街地での新しい店舗数のことなのかをまずお聞きしたいです。</p> <p>18ページ、観光入込客数何万人というのが、平成28年が70万人、令和2年と3年がコロナで減っているのはわかるのですが、どうやって調べているのですか。例えば本庄まつりなど、どこで誰がカウントしているのか、それと、カウントする事業というのは何を基準にしているのか、その2点を伺います。</p>
岩上副会長	事務局お願いします。
事務局 (企画課長)	<p>明堂委員のご質問にお答えします。まず16ページの空き店舗については、本庄地域あるいは児玉地域というところは確認をしたいと思いますのでまた報告をさせていただきます。</p> <p>18ページの観光入込客数、こちらはカウントの仕方はある一定のエリアを決めて、そこでのカウントをして全体像を捉えることになっているようでございます。以上です。</p>

明堂委員	<p>お答えになっていないのですけれども、それを聞いてから次の問題を聞いたかったのです。中心市街地のエリアも多分担当は分かっているのだと思うのですが、平成28年から合計していきますと、令和3年までで182店、令和4年度まで足すと219店舗、空き店舗が埋まって、やめてしまっていることもあるのですが、とてもそんなに実数が残っているとは思えないのです。補助金を出すにあたって縛りがどれくらい取れているのか、私が危惧しているのは補助金目当てで始めて、1～2年でやめてしまふとかということです。そうでなければ、少なくとも平成28年から令和4年までで219店舗も始まっている実感はないです。エリアとしてはあるとしても、200店舗以上新しく始まった、まあやっているのしょうけれど多分始めました、やめましたがということをお聞きしています。</p> <p>もう一つ、どうやって数えているか、面で調べているとおっしゃっていますが、本庄祭りや夏祭りなど、どの事業を観光事業として位置付けて観光入込客数に入れているのか、基本的な所をお聞きしたいのです。以上です。</p>
岩上副会長	事務局お願いします。
事務局 (企画課長)	<p>明堂委員のご質問にお答えします。空き店舗については累計の実績であると思いますが、確認させていただきます。令和9年度に向けてこの目標を立てたのが毎年2社ずつ増加させることを目標としたものでございます。そう考えますとこれは累計だと思います。補助金を申請いただく際に、事業者を審査させていただいておりますので、すぐ行ってすぐやめてしまうということがないようにしている状況がございます。</p> <p>観光入込客数につきまして、どのようなイベントを調査しているかについては、担当課に確認させていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
明堂委員	<p>累計となると、今度は少なすぎる気がします。店舗として私が知っているだけでも何か所か出ていると思います。平成28年、29年、累計なのにどうして減ってしまうのか。意味が分かりません。担当に聞いて数字を出してください。私たちはこれを見せられても意味が分かりません。観光客をどうやって調べている</p>

	か、あらかたでいいのでだいたいのことは知っていて数字を出していただきたいと思います。以上です。
事務局 (企画課長)	合わせて確認させていただきます。
岩上副会長	後ほど確認ということでお願いします。他にありますか。内田委員どうぞ。
内田委員	<p>3つ伺います。</p> <p>まず8ページ、全国平均正答率を目指すという指標がありますが、私としてはもうちょっと高く設定した方がいいのではないかと思います。部活で言うと、一位は取らなくても良いからそこそこ平均くらいのところに行こうねと、そうすると本当に平均が取れるのかというところで、教育のまちというお題目もあるので、この辺の指標設定の考え方はもう少し上げた方がいいのではないかなと個人的には思っています。</p> <p>30ページ、新規項目ということで、国際交流協会の事業に参加する延べ人数2,000人ということを出してもらっています。国際交流事業に参加してもらって本庄市に住む外国人の方と元々住んでいる方、あるいは外国人同士で触れ合ってもらおうというのは、指標としては良いのかなと思います。しかし、延べで設定すると、結局同じ方が毎回来るだけということになってしまって、その事業を何回もしたところで、市内で何の国際交流も進まない。徐々に新しい人を探していったり、来ていない方に来ていただいたりすることが国際交流と呼ばれる一つの指標になり得るのではないかと思います。管理が大変でどのように計るのか難しいとは思いますが、新規参加者数というようにしないと国際交流事業をどのくらい市内で行っているかというのが指標としては弱いのかなという印象をもちました。</p> <p>最後に茂木委員がおっしゃった38ページのマイナンバーについて、先ほど私が言った学力調査の話も同じなのですが、他の指標はどちらかという現状に即して無理のない範囲で設定しているものが多いと思うのです。女性委員数とか脱炭素の話も同じですが、全ての指標はこれ位だったらいけるだろうということで設定しているものが多いだろうと思うのに、ここだけは現状に即していない、絶対できないのに100になっているところが、あってないような目標になってしまっています。絶対無理だから放って</p>

	おけば良いという感じになってしまっていて、そのあたりの考え方を話していただければと思います。以上です。
岩上副会長	ありがとうございました。
事務局 (企画課長)	<p>では、内田委員のご質問にお答えさせていただきます。</p> <p>まず8ページ、平均を目指すということでございます。これは3年度の実績現状値を見ていただくと分かるのですが、91、95、87となっています。内田委員もおっしゃるように、もうちょっと高くても良いのではないかと思います。担当の方は、まずは平均というところを考えているということでのこの数値でございます。</p> <p>続いて30ページ、国際交流事業への参加者数ということで、内田委員のおっしゃるように延べというところで、新規の把握は難しいだろうが新規参加者数を出してはどうかということです。担当の方にも確認したいと思いますが、委員もおっしゃるように管理が中々難しいというところも推測されますので、その辺りはご理解いただければと思います。</p> <p>続いて、マイナンバーの所でございます。マイナンバーについては、国でも交付率100%を目指しているということがございます。ほぼ全員の方にいきわたるよう、国で掲げた要求というわけではありませんが、ここは全員の方に行き渡るように、申請していただけるようにこちらも努力しており、そういった意味での100%ということでご理解いただければと思います。以上です。</p>
内田委員	国際交流事業のところで、参加のカウントとして非会員の方が何人来たかという指標が良いのかなと思います。これは担当課に伝えてもらえればと思います。以上です。
岩上副会長	ありがとうございました。他に何かありますか。
清水委員	<p>1ページ目の待機児童数ですが、ずっとゼロでこれは好ましいことであると思いますが、最近新聞をにぎわせている無園児、保育園や幼稚園に行っていない子どもがいるというところについては本庄市で把握をしているのかどうか、その辺をわかっているとお知らせいただきたいと思います。</p> <p>それから19ページの労働力人口ですが、4万人ということで増えているということですが、人口減少の中で労働力人口は当然減っていくわけですから、それが増えていくということは、若い人の</p>

	<p>転入を目標にしていると理解して良いのかお願いします。それに関連付けて、39ページの20代～30代の転入超過人口が移動均衡でゼロとなっています。労働力人口が増えるという目標を立てて、20代30代の転入してくる人が増えたり減ったりでゼロになってしまう目標というのは、整合性としてどうなのかというのをお聞きしたいと思います。</p>
岩上副会長	ありがとうございます。
事務局 (企画課長)	<p>清水委員のご質問に回答申し上げます。</p> <p>まず1ページ、保育所等における待機児童数ということで、保育園や幼稚園に行っていないお子さんの数は、いらっしゃるということではありますが数的には把握をしていませんので確認をさせていただきます。</p> <p>続いて労働人口です。これが19ページ、39ページの20代30代の転入超過人口の整合性というところです。こちらは、全ての方が転入地で労働されているかということもあり、労働人口については現在39,724人に対して40,000人、こちらも減らさずに増やしたいといった意味でのものがございます。先ほど申し上げました、20代30代というところもあり、整合性という意味ではなかなか難しい点もあるというところでご理解いただきたいと思います。以上です。</p>
岩上副会長	他にご意見はございますか。はい、矢野間委員。
矢野間委員	<p>一点だけ、11ページの教育環境の整備のところ、学校支援員等の人数の中で、令和3年度に93人という数字が出ています。前年度より約20人近く増えているのですが、これは「学習補助教員、さわやか相談員、ふれあい教室相談員」というようなここに書かれている方々が増えたという認識で良いのか、この中にスクールサポートスタッフは含まれているのか確認させてください。</p>
事務局 (企画課長)	<p>矢野間委員のご質問にお答えします。前期基本計画では、例えば学校図書館支援員が入っていなかったものが今回から入れたという経緯がございます。増えたところはそういう理由だと思えます。またスクールサポートスタッフが入っているかどうかは確認をさせていただきたいと思います。</p>

矢野間委員	<p>前期目標値が70人だった中で、令和3年度93人と飛躍的に目標を達成している中でどういった現状があるか。私も個人的には教育環境の整備は非常に大切なものであると思っているので、先ほど内田委員のご提案もあったとおり、目標値に対してなのですが、学校教育環境を整えるということは、先生方、教員の方の労働環境を改善することが目的であり、その更に奥には、生徒と向き合う時間があるはずだと私は思います。目標値について、これだけ環境整備が整ってくるのならもう少し目標を高く設定していくべきだと考えます。その辺に対してご意見を伺います。</p>
事務局 (企画課長)	<p>矢野間委員のご質問にお答えします。 教育環境が充実する中で学力目標をもっと高く持った方がいいのではないかというご意見ですが、先ほど内田委員のところでもお話ししましたとおり平均というところで設定しているというところではあります。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございます。他に何かございますか。 それでは、本案件につきましてはこれにて決定とさせていただきます。また本日の会議の方も企画課が中心で行っております。今日も各委員さんからご意見が出されております。後で回答というようになっていますが、その点については企画課長が中心となって、正確な数字、また各課の考え方というのをまた見せていただければと思います。それを付け加えさせていただいて、決定いたします。 会議が始まって約2時間、お疲れかと思えます。休憩いたしますがよろしいでしょうか。 ただ今事務局が各課に情報の確認を取っております。資料が集まり次第開会ということでお願いします。 (休憩) それでは会議を始めたいと思います。事務局の方から報告をお願いします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>全てではないのですが、今の時間で確認させていただいたところにつきましてお答えをさせていただきます。 まずは16ページ、空き店舗についてです。こちらは中心市街地というところで、本庄駅周辺、本庄早稲田駅周辺、児玉駅周辺エリアというところでございます。数につきましては、累計とい</p>

	<p>うことになっております。現状で言いますと今までで53事業者に対し補助金を交付してございます。そのうち移転が4、廃業が15で、53マイナス19で34、現在34の事業者が残っているという状況でございます。こちらは先ほども申し上げましたが、審査の際に2年間の事業計画書を出していただき、こういった内容であれば大丈夫ということで補助金を交付しております。今後も一年間に2事業者という目標設定でございます。</p> <p>続きまして18ページ、観光入込客数についてです。こちらはいくつも数がありますので主なものを挙げさせていただきますが、各イベント、本庄早稲田の杜ミュージアム、観光農業センター、ゴルフ場などのお客さんが入っています。こういったところは施設等でカウントしますので、その数を入れさせていただきます。また、お祭り等のイベントにつきましては主催者が発表した数ということになるようです。主催者の発表はどのようなものかという、前年度との比較などでの算出になるようでございます。</p>
<p>事務局 (企画課課長 補佐)</p>	<p>続いて、1ページの無園児を把握しているかについては、把握していないということでもございました。</p> <p>8ページ、学力調査について全国平均を100としてさらに高く設定した方が良いのではないかという点について再度確認をしてみました。おっしゃるとおりではあるものの、現状としては100にも満たない段階ですので、まずは100を目指したいというところで設定しているようです。現場としては100にすることも中々大変だという声を聞いてまいりました。</p> <p>11ページ、学校支援員等の人数の中には、スクールサポートスタッフが入っております。入った数として学校の支援員等の人数を算出しております。</p> <p>ページが飛びますが30ページ、審議会等における女性委員の比率について目標値に掲げておりますが、こちらも先ほどの説明と同じ考え方で、まずは30%を目指すということで掲げさせていただいております。</p> <p>また、国際交流事業の参加者数ということで、委員の先程のご趣旨もございしますが、なかなか新規で捉えるのが難しいということ、コロナ禍の現状では新規が5人になるかならないかという程</p>

	<p>度で、何回か参加している方が事業に参加する方が多いという回答でございました。</p>
事務局 (企画課主査)	<p>資料1の2ページでご質問いただいた、本庄早稲田駅の駅前広場の区域についてですが、駅前広場の利便性はあくまでも本来の駅前広場としての使い方、送迎に支障がない、バスやタクシーを使いやすいなど、そういった形での利便性ということで記載しております。先ほど委員がおっしゃられたようなにぎわいやイベントでの使用というよりも、本来の広場としての利便性という点で、本庄早稲田駅の利便性は低くないと認識している、ということからこのような回答としております。</p> <p>同じく2ページの5番、競進社模範蚕室と旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の部分につきましては、前後の文章のつながりもございませのでこの場でこうしますと言えないのですが、確認をさせていただいて修正があるようであれば次回報告させていただきたいと思っております。</p>
事務局 (企画課長)	<p>江原委員からのご意見である児玉駅周辺の記述につきましては担当の方に伝えましたので、こちらは検討すると回答しております。以上でございます。</p>
岩上副会長	<p>事務局、ありがとうございます。先ほど決定はされましたが、再度報告が必要なものにつきましては事務局にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、続きまして審議事項第2号「総合振興計画後期基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施について」の説明をお願いいたします。</p>
事務局 (企画課主査)	<p>・総合振興計画後期基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施について (資料に基づき説明)</p>
岩上副会長	<p>いよいよ、皆様にご審議していただきました基本計画についてパブリックコメントを実施することになっております。この際、各委員さんからご意見等ございましたら、お願いします。</p>
鳥羽委員	<p>これからいよいよパブリックコメントということで、たまたま私も審議会委員になりまして、計画の内容を見ていて、これを推</p>

	<p>進していく中で、行政だけではなく市民一人一人の意義を含んでいる、そんな思いがしております。</p> <p>そのような中で、つい最近地域から要望がありました。ある市道で仮舗装してあるだけで、そこを通ったら頭を天井にぶつけて医者に通う羽目になってしまった、早く何とかしてほしいという話がありました。つい先日もそのような話を承って、計画書を読んだ時に、鳥羽それで責任取れるのか、安心安全がどうしてと考えた時、81ページの道路河川の維持管理の中で「市道の整備」があり、地域の幹線となる市道や生活道路の拡幅整備を行い、安全で円滑な交通を確保しますという記載があります。パブリックコメントを見た時に、その方が、そのように記載されていますので私も改めて市の方に要望を出したいと思っておりますが、ぜひ意義を含むという努力をしていただきたいと思っております。市道が結構あります。優先順位はありますが、市の道路とした以上はそれなりの整備を、5年では無理だったとしても、そういった中で私はこの言葉を読ませていただきました。責任が取れるかと言われた時に責任は取れませんけれども、その努力はしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。後で要望書を出します。</p> <p>また、読み方の理解ができましたらお願いします。77ページの「計画的なまちづくり」という中の、都市計画マスタープランの推進の中で、新たな土地利用を含むとあります。旭地区の17号バイパスの整備があります。これはそういった所を含んだニュアンスで捉えてよいのかということをお教えいただければありがたいです。以上よろしくお願いいたします。</p>
岩上副会長	<p>これについて、事務局の方はいかがでしょうか。私の方から、ちょっとお話ししたいと思います。総合計画振興審議会の委員の皆様として、これは言うまでもなく本庄市の大計画です。先ほど鳥羽委員さんの方からもあったとおり、マスタープランという審議会がございます。これは総合振興計画の基本計画の中にそれぞれ位置づいている都市計画分野でのマスタープランということなのですが、今要望のあった道路の問題、また土地利用の問題、これ</p>

	<p>については審議会で議してよろしいのでしょうか。事務局お願いします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>先程、鳥羽委員の質問に対してですが、道路につきましては、鳥羽委員の方から担当に要望というところでお伺いしました。ここでいう後期基本計画では、安全で豊かな交通を確保するということですのでご理解いただければと思います。</p> <p>また77ページにつきましても、3つ目の黒丸にあるとおりなのですが、新たな土地利用のニーズが高いエリアということになりますので、ご理解いただければと思います。以上でございます。</p>
岩上副会長	<p>鳥羽委員、よろしいですか。先程申しましたとおり、総合振興計画、これはあくまで本庄市で一つでありまして最上位計画であります。それに基づいてそれぞれの産業、都市計画、福祉とそれぞれの分野で計画を持ちます。これはあくまで総合振興計画に基づいてという形になりますが、そういう形になっております。従いましてマスタープランの方に私も出させていただいておりますが、マスタープランの中で道路とか、土地利用とか、そういった問題も現在出ております。そういう現状でございますのでご理解をお願いします。他にありませんか、どうぞ。</p>
芦澤委員	<p>まず一点、政策連携プランのところ、ネウボラプランというのがあるのですが、この言葉を若い人に聞いてみました。この言葉を知っていますかと。そうすると誰も知らないのです。ということは、これを作成している方は意味を分かっていると思うのですが、一般の方が見た時に、この言葉が全然通じていないのです。丁寧に政策のことを理解してもらうには、その言葉がどういう言葉なのかを少し添えて説明してあげる。フィンランドからきている言葉だと思うのですが、育児施設の名前ですよ。そういう説明があって言葉を理解してもらえらると思うのですが、言葉だけとった時に何だろうと分からないことがあります。何らかの形で説明してあげると良いと思います。この言葉だけではなくこの中にいろいろ難しい言葉があると思います。そこから※印で説明を添えてあげると理解していただける率が上がると思います。</p>

	<p>あと、いろいろ見ていますとネットワークづくりをしますとか体制づくりをしますということが出ています。今考えている中で、5年間の中でネットワークを完成させるのか、1年2年というスパンの中でネットワークづくりをしていくのか、ネットワークや体制づくりをするにはどういう組織においてどのような期間でそれを検討するのか、もし分かれば教えていただきたいと思います。以上です。</p>
岩上副会長	事務局お願いします。
事務局 (企画課長)	<p>芦澤委員のご質問にお答えします。ネウボラにつきましては、前期基本計画から引き続いての考え方というところになります。注釈については、引き続きさせていただきたいと思います。</p> <p>すみません、もう1点のネットワークにつきましてもう一度お願いします。</p>
芦澤委員	<p>体制づくりの中で何かをするのに、ネットワークを作って対応する、または体制づくりを、とのことですが、それをいつまでに検討していくのか。体制づくりをどのようにするのかということです。スケジュールをどのように決めていくのかというのを具体的にあればお願いします。それを5年計画の中でやるのか、2年くらいでやるのか、または1年くらいで体制づくり、ネットワークは作っていく計画があるのか聞きたいのです。いろいろなところで体制づくりをします、ネットワークづくりをしますと書いてあります。それをいつどこでどのように体制づくりをするのかをお聞きしたいのです。</p>
事務局 (企画課長)	<p>すみません、ありがとうございます。いろいろな面での体制づくり、一つの事業を進める上では体制を作って進めるというところはあります。それにつきましては、一つとしては総合振興計画の下にぶら下がっている各計画の中での体制づくりをして事業を進めるということです。いろいろな意味でのものがあるかと思いますが、状況に応じてということになるかと思いますが。以上でございます。</p>
岩上副会長	ありがとうございます、芦澤委員よろしいでしょうか。内田委員どうぞ。

内田委員	<p>3つ伺います。</p> <p>1つはパブリックコメントの実施についてですが、やはりパブリックコメントは集まりづらい状況があると思います。閲覧場所を出していただいたところで、なかなか行かないところにあると思います。ですので、今高校生の写真展をやっているところにちよっと置くなど、そういった工夫があっても良いのかと思いました。質問というよりも提案です。</p> <p>また、今日配っていただいた総合振興計画の案の28ページの2つめになりますが、一つはSDGsを優しくカタカナで表記していただいているのですが、迷ったかもしれないのですが伸ばし棒の方がいいと思います。お考えをお聞かせください。</p> <p>29ページのところですが、このバージョンがどこでどう使われるか分からないのですが、SDGsのアイコンはカラーか白黒かのどちらかしかなく、これは使い方として間違っています。もしこのバージョンを何かに使うのであれば混乱するので白黒バージョンに変えていただくか、このページだけカラーというよりは白黒バージョンにさせていただければと思います。以上です。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございました。3点内田委員からありました。</p>
事務局 (企画課長)	<p>内田委員のご質問にお答えします。</p> <p>まずはパブリックコメントの実施場所について、参考になるご意見をありがとうございます。ご意見を承りましてこちらでも検討したいと思います。今、実施場所として考えているのが、市庁舎、はにぼんプラザ、図書館の本館と分館を考えております。</p> <p>続きましてSDGsのカタカナについては、もう一度確認をさせていただきます。</p> <p>29ページの部分ですが、できあがりはカラーになります。パブリックコメント閲覧の際はカラーになります。こちらは簡易印刷ということでご理解いただければと思います。</p>
岩上副会長	<p>他にありますか。どうぞ。</p>
杉原委員	<p>38ページですが、体の健康づくりの推進、この中で確かにいろいろな教室の企画があると思うのですが、その教室に出かけられる人は、出かけられる人なのですよ。平日に仕事をしているとか、そういう方たちは結局行くことがあっても参加しにくいわ</p>

	<p>けです。やはり団体事業所に出前講座ということを入れてみたらどうかと思います。教室だけではなく出前講座という、この言葉を入れて、もう少し市としては前向きな健康づくりの推進ということをアピールしてはどうかと思いました。</p> <p>45ページの下段、社会参加と交流の推進ということで、障害がある人もない人も一緒に何かをやりましょうという風潮があります。そこで確かにふれ愛祭りとか老人・障害者スポーツ大会、良いことであって実行していると思うのですが、垣根をあまり作らない言葉で企画するというのも一つの方法だと思います。直してくださいというわけではないのですが、そういうものも含めていただければというのが今時の形だと思います。以上です。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございました。今杉原委員の方からもっと具体的に言った方がいいという意見でした。先ほど私が申し上げたように、また企画課長の方からもお話がありましたように、あくまでこれは総合振興計画ということで骨格でございまして、その骨に肉をつけるのがそれぞれ福祉分野とか教育分野ということでございます。そういう中で、おそらく杉原さんの望むような形に肉がついてそれぞれの分野の計画になるかと思うのですが、事務局いかがでしょう。</p>
事務局 (企画課長)	<p>杉原委員のご質疑にお答えします。副会長のおっしゃるとおり、総合振興計画というところもありますのでご理解いただきたいと思います。ご意見、ありがとうございます。</p>
岩上副会長	<p>他にありましたらどうぞ。</p>
茂木委員	<p>5ページ、3のデジタル化とグローバル化の進展の中で「グローバル化が進展しているとなっています。我が国においても外国人人口は増加傾向にあり、平成27年から令和2年にかけての増加率は43.6%と高くなっています」とあるのですが、これはすごい増加率ですよ。本当かなと思ったのですが、もともとなる数字は後で調べていただければと思います。4の経済状況の変化の中で「新興国・資源国経済の脆弱性や地政学的リスク」とありますが、これは具体的にどういう国を指しての表現なのかが分か</p>

	<p>らないのでご説明いただければと思います。今非常に物価が高くなっており、ウクライナへの侵攻も長くなると言われています。ウクライナへの侵攻に関する表現等はあっても良いのかもしれないと思いました。また、次のページの働き方の変化のところで「職場に出勤せずに勤務を行うテレワーク、サテライトオフィスでの勤務、時差出勤等に加え、オンラインでの会議など、勤務中や出勤時の感染リスクを減らすための取組が定着しました」という表現がありますが定着したのでしょうか。そうせざるを得なかった、余儀なくされたわけですね。これから社会が戻っていくとなると、一部には残るかもしれませんが、取組は大企業ですね。定着しましたとまで言い切ってよいのか疑問に思いました。以上です。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございます。事務局にお伺いしたいのですが、今ご意見をいただいておりますが、この文言の修正というのは可能なのですか。それとも原文とおりでパブリックコメントにかけたいということなののでしょうか。その点についてお聞きしないと、皆さんにご意見をいただいても全く効果がなしになってしまいます。</p>
事務局 (企画課長)	<p>そうですね、茂木委員の質問にまずは説明をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>外国人の方の人口の増加については、このとおり平成27年から令和2年にかけて43.6%増加したというところでご理解いただければと思います。続いて、新興国・資源国等の脆弱性というところがありますが、ここはやはり中東の石油というところでの書き方、表現をしております。テレワーク等の定着、今後を考えるとということでございますが、このコロナ禍、まだ不透明という部分がございます。そういった中で、テレワークあるいはこういった働き方についてはある程度定着したのかなという考えのもと、こういった表現をさせていただいている状況です。</p>
岩上副会長	<p>私がお話した件はどうでしょうか。これをそのままパブリックコメントにお出しするのでしょうか、あるいは皆さんからいただいた意見をもとにさらに改正してパブリックコメントに提示するのか、この辺についてお願いします。</p>

内田委員	<p>お答えをしづらいものと思いますかと思しますので私からお話しますと、皆さんのお手元にあるこの用紙は我々がこれまで審議してきたもので、基本的にはここからもう一回ということは、私はない、そうすると一生終わらないと思っています。私も言いたい事はたくさんあります。以上です。</p>
岩上副会長	<p>ありがとうございます。そういう解釈で行くということによろしいですね。今内田委員がフォローをしてくれました。今までこの冊子については我々が議論や審議をした結果だということです。</p>
江原委員	<p>誤字脱字、表現方法は事務局に一任ということでおさめればと思います。先ほど内田委員の言われたSDGsですが、国際連合広報センターで調べましたら、正式にはエス・ディー・ジーズなのです。カタカナでやる時には統一の決めがあるから確認して、誤字脱字、表現方法は会長副会長、事務局に一任でまとめるということが良いのではないですか。</p>
岩上副会長	<p>今まで各委員さんからご意見をいただいておりますが、この件につきましては、一応こういう形で決定ということによろしいでしょうか。更に、先程江原委員からおっしゃった、誤字脱字、表現方法についてです。</p>
江原委員	<p>それと、句読点も追加しますか。</p>
岩上副会長	<p>誤字脱字、句読点、表現方法につきましては、会長、副会長、事務局に一任ということをお願いいたします。それから、内田委員から助け船を出していただきました。計画を広めるということは色々な方法を駆使していかなければならない。これを見ても、カタカナや英語や熟語が難しく、全く見る気にならないのが本音でないかと思えます。本当にそれを簡単にしようというのも、事務局にとっては酷なことでございます。そんなことを申し上げさせていただきます。ご協力をいただきまして、議長の座を下ろさせていただきます、マイクを事務局にお返しさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	<p>皆様、慎重な審議をありがとうございました。また、議長を務めていただきました岩上副会長に御礼申し上げます。大変ありがとうございました。</p>

	<p>続きまして、次第の4、その他でございます。今後のスケジュール等につきまして事務局から連絡がございます。</p>
事務局 (企画課課長 補佐)	<p>事務局より4点ございます。</p> <p>一点目、本日の会議の会議録の案につきましては、後日委員の皆様にお送りさせていただきます。お手元に届きましたら内容をご確認いただき、記載内容に修正等がありましたら事務局までご連絡をお願いします。</p> <p>二点目、8月25日に本日委員の皆様には資料4としてご提示しました本庄市総合振興計画(案)を資料として用い、市議会との意見交換会を開催いたします。この意見交換会の意見、またパブリックコメントでの市民の皆様からのご意見を踏まえた対応につきまして、次回の審議会においてご報告させていただく予定です。</p> <p>三点目、資料の中に本庄市総合振興計画進行スケジュールという一枚紙を配布させていただいております。第4回までは事前にお知らせさせていただいておりましたが、それ以降について、特に第6回第7回のスケジュールの連絡がまだであったかと思えます。次回の審議会は10月18日火曜日、午後1時半からを予定しております。また、第7回、この回が最終回になるかと思えますが、11月1日火曜日、午後1時半より市役所の6階大会議室で行います。最終回第7回では、当審議会の審議結果を市長に答申をするとともに、冊子に掲載します集合写真を撮らせていただく予定でございます。皆様におかれましてはお忙しい中恐れ入りますが、出席につきましてご配慮くださいますようお願いいたします。</p> <p>四点目、本日の報酬についてはご指定の口座に振り込みをさせていただきます。以上です。</p>
事務局 (企画課長)	<p>それでは次第の5、閉会にあたり、岩上副会長よりごあいさつを頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。</p>
岩上副会長	<p>皆様、長時間にわたりまして熱心にご協議、ご審議賜りまして、ありがとうございます。本日は凶らずも議長という職を申し付けられました。皆様にはお聞き苦しい点多々あろうかと思えますが、皆様方の協力で議長の職をさせていただくことができま</p>

	<p>した。本当にありがとうございました。これから9月になり、だいぶ陽気も良くなってくるかと思えます。どうか皆様方、健康には十分気を付けていただきますようお願いをいたしまして、本日の会議を閉会とさせていただきます。また事務局につきましては、いつも我々のために熱心にご説明をいただきましてありがとうございました。以上を持ちまして閉会とさせていただきます。</p>
--	--

会長署名 岩上 高 男

(代理)